

地域の達人 紹介します！

市では、生涯学習基本構想のもと、学びをとおした人づくり・地域づくりを進めています。「地域の達人」と称して、地域で活動をしているいろいろなジャンルの達人の活躍する姿をより多くの方に知ってもらい、生涯学習のネットワークを広げていくため、毎月15日号で紹介しています。
地域の達人とは…高浜市に在住、在勤、在学している方で、いろいろな特技や専門分野を持った方



「太鼓の達人」

さとう
佐藤トシミさん（清水町在住）



▲佐藤トシミさん

◆太鼓を始めようと思ったきっかけは何でしょうか？

今から20年ほど前に参加した同窓会のイベントで、和太鼓の生演奏を聴いたのがきっかけでした。それまで太鼓というと盆踊りで聴く程度だったのですが、そのときに聴いた太鼓がずっと頭の中に残っていたんですね。それから1年後くらいに、友人から農業センターで和太鼓の教室があると聞いて、それまで音楽はカラオケで歌うくらいでしたが、同窓会のときの生演奏を思い出して、自分でもやってみようと思いました。今は、「夢童」というアマチュアの会で、サブリーダーという立場で演奏と指導を行っています。

◆佐藤さんにとって太鼓の魅力はどんなところでしょうか？

1曲を覚えたときの達成感でしょうか。まずは譜面を見ながら覚えて、次に何も見ずに覚えて、といった具合に身体で覚えていくんですね。あとは、演奏は、1人ですのではなくグループで演奏するものですから、全員で揃ってバランスよく演奏しきれたときの達成感は格別です。

◆子どもたちにも指導をしているそうですね。

「打だっ子夢童」という子どもグループで指導をしているのですが、彼らがじょうずに演奏できたときは自分のこと以上に嬉しいですね。大人は譜面を読みながら曲を覚えていくのですが、子どもたちは譜面なしで、模範演奏を見て聴いてそのまま覚えていってしまいます。



▲「打だっ子夢童」の演奏

また、8年ほど前から、南中学校の支援学級でも太鼓を教えています。

教えているというよりも、子どもたちから力をもらっているという感じです。一生懸命に演奏している姿を見られるのも嬉しいですが、「太鼓を演奏することがリハビリになってよかった。」といった声を聞くと、頑張ってたかったと思います。

◆これから何かをやってみたいなという方にメッセージをお願いします。

年齢に関係なく、やりたいと思った時が始めどきだと思います。例えば、太鼓は体力が必要ですが、年齢にあった楽しみ方があります。ぜひ、生の太鼓の音を聴きにきていただければと思います。

「夢童」は毎週木曜日、「打だっ子夢童」は毎週金曜日の午後7時から農業センターで練習をしています。

タカハマ！まるごと宝箱 第2回「語り合い・学び合いの会」

高浜の魅力に触れ、学び合い、語り合しましょう

「たかはまのせこみち散歩」「三州だるま窯復元プロジェクト」映像を鑑賞します。

日時 8月27日(水)午後7時～ 場所 ギャラリー彦六(青木町七丁目3-48)

地域の達人を募集しています

こんな趣味や特技を持っていて、ぜひ地域の方に知ってほしいという方がいましたら、気軽に知らせてください。(自薦・他薦どちらでも可)



問合せ先 団文化スポーツグループ ☎ 52-1111 (内線 300) 📠 52-1110
Eメール bunka@city.takahama.lg.jp